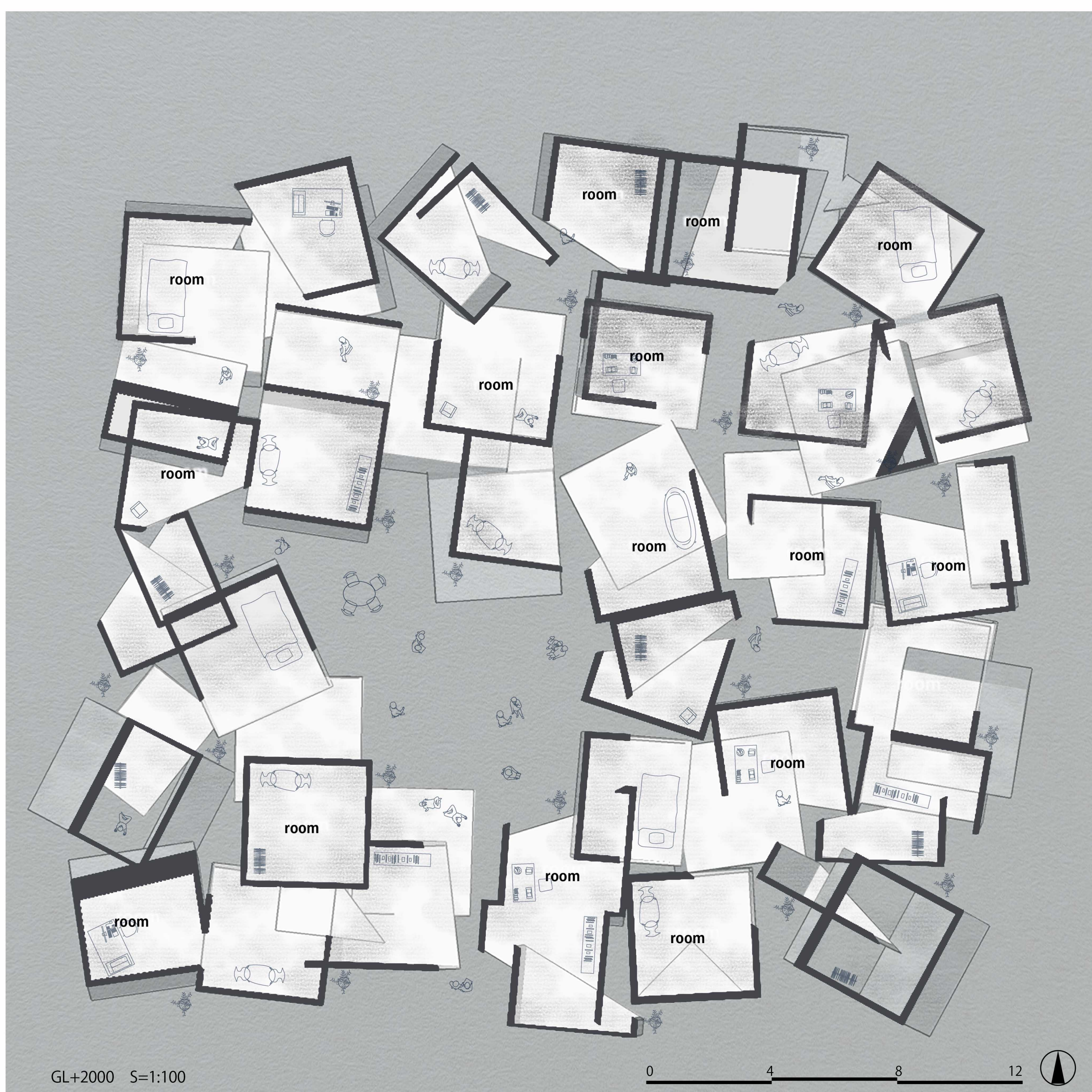
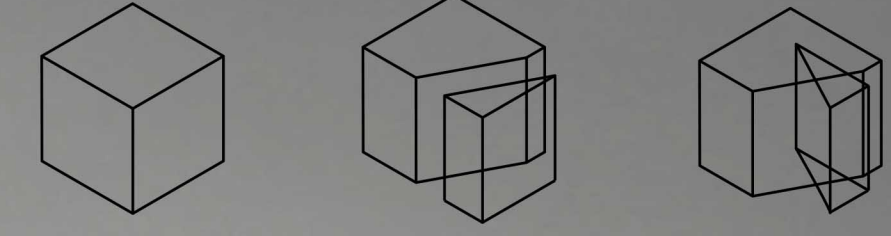


CONFLEX HOUSE

大阪のとあるオフィス街に建つ学生寮。

均質で内に閉じた部屋を「切断」によって外へと開き、「挿入」によって機能を付加する。そうして再編成された部屋が積み上がり一つの大きな空間をつくった時、どのような生活が見えるだろうか。

個人と個人の領域が柔軟に混ざり合う、自己と他者を媒介する建築の提案。



Process.



最も単純な部屋の形態として立方体を考える。

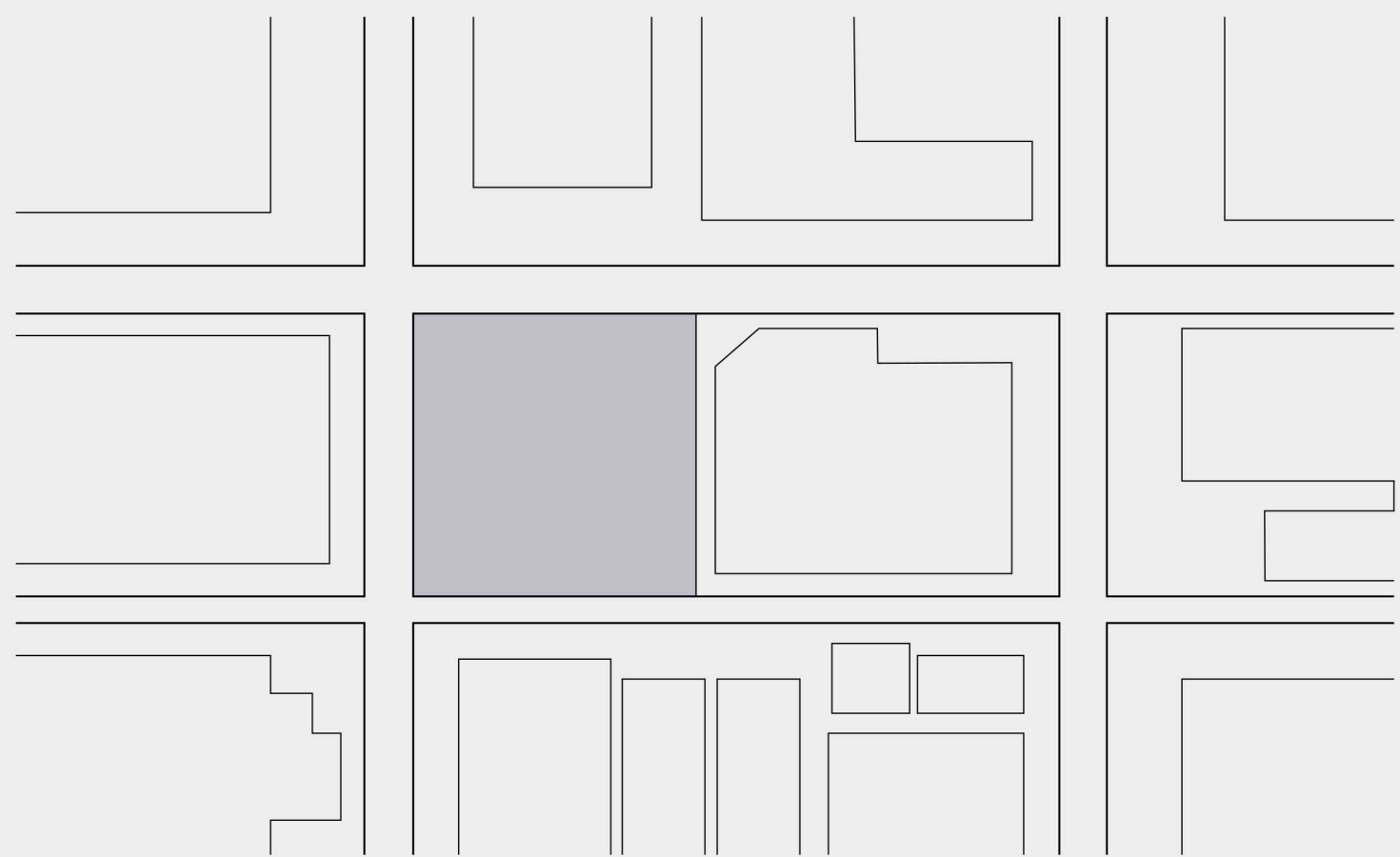
「切断」によって内に閉ざされた空間が開かれ、内部が外部に表出する。

「挿入」によって機能を付加する。これによって周辺の空間に質の変化を与える。

同じプロセスでつくられた「部屋のよなもの (room)」を適切な距離感で並べていくことで動線と部屋が混同した多様性のある空間が創出される。

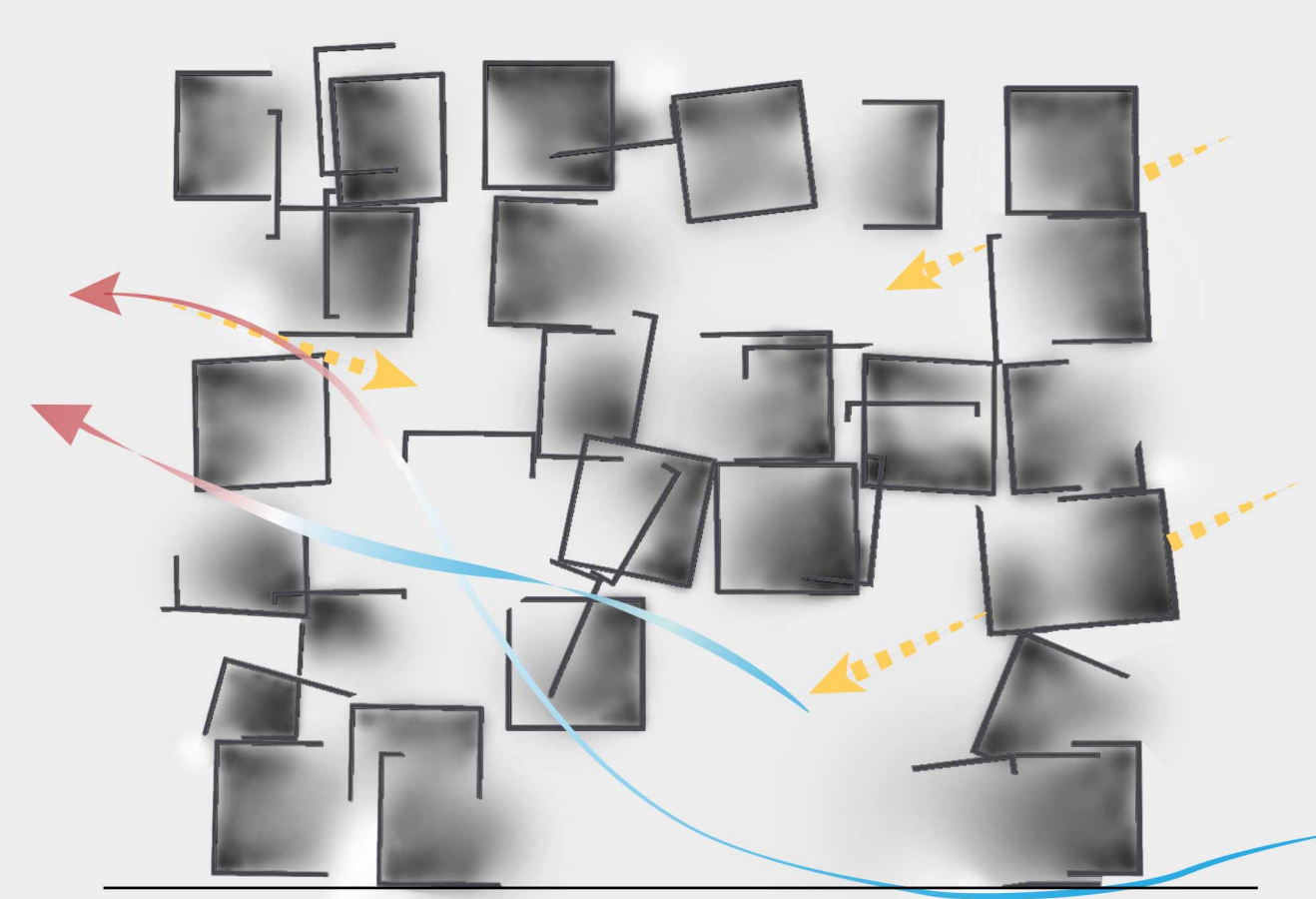
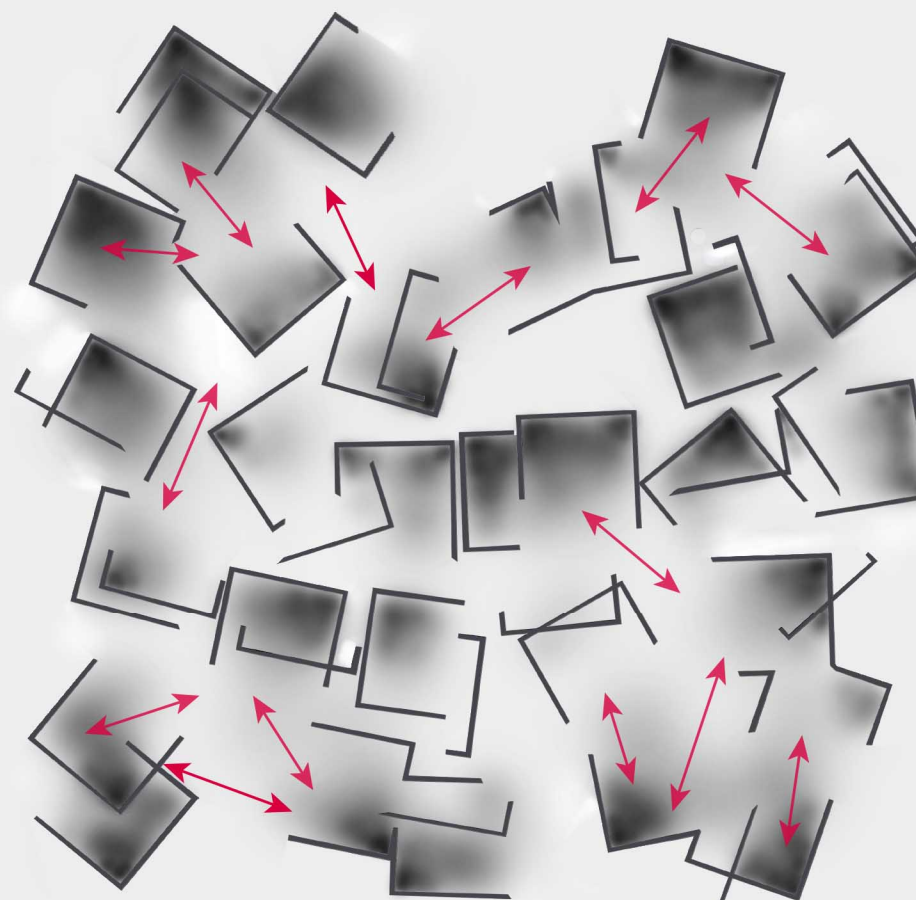
これを断面的にも積み上げていくことで全体が緩く繋がった一つの大きな空間が出来上がる。

Site&Use



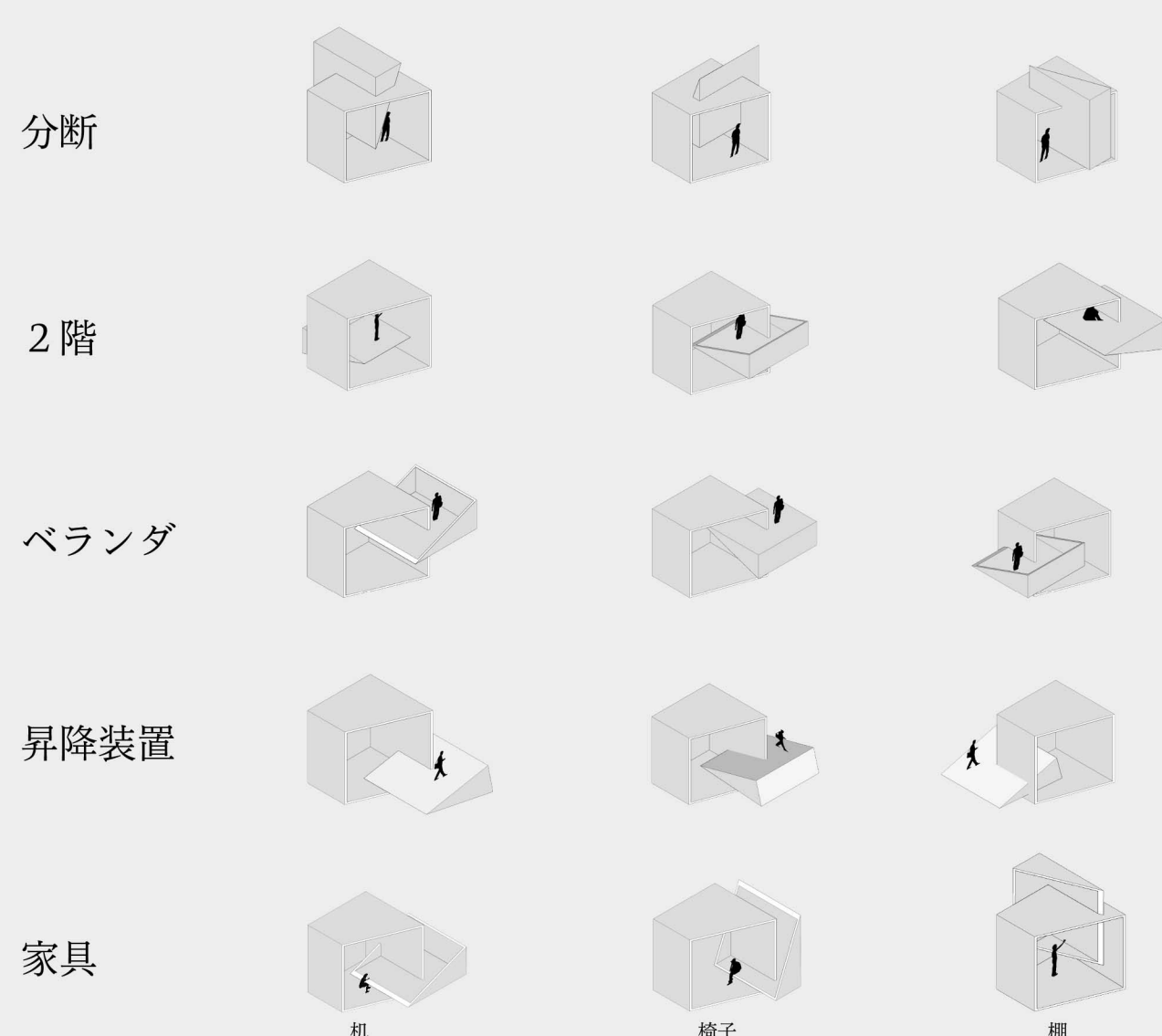
敷地は大阪にあるビルの立ち並ぶオフィス街。この一角に学生のための寮を設計する。均質的で無呼吸な大都市の巨大な連続空間に学生の活気があふれ出すような建築を考える。

Relation

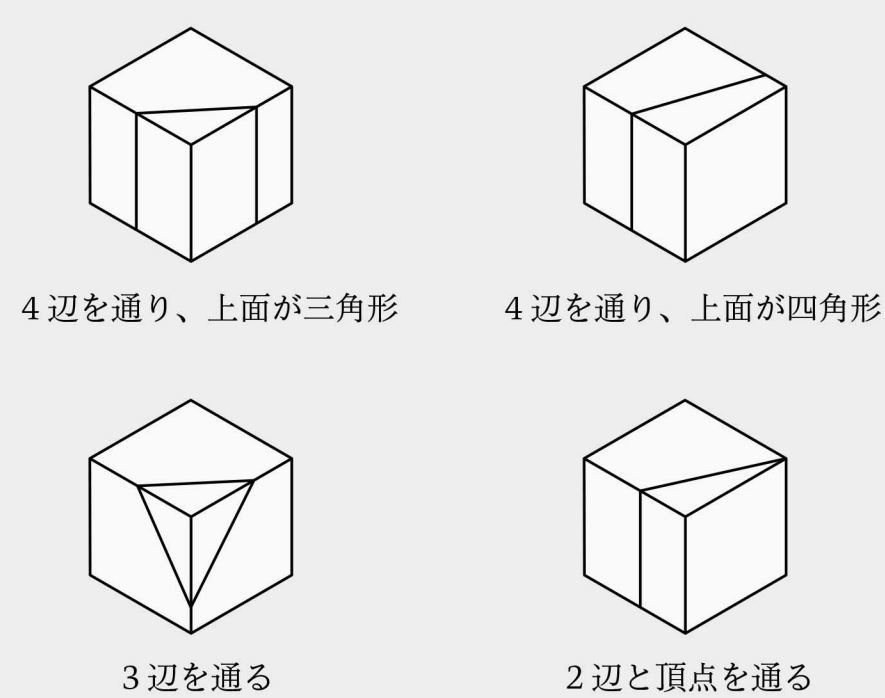


過密に配置するのではなく所々に空隙を生じさせながら配置することで開かれた空間とそうでない空間との濃淡が強まりより居場所の選択性の高い空間が出来る。それによって空間だけでなく個人と個人の関係性にも多様性が生じる。さらに設けた空隙に光や風を取り込むことで都市の一部を建築内部に取り込み、周辺の環境の変化に呼应し多様にその表情を変えていく有機的な建築を提案する。

Function

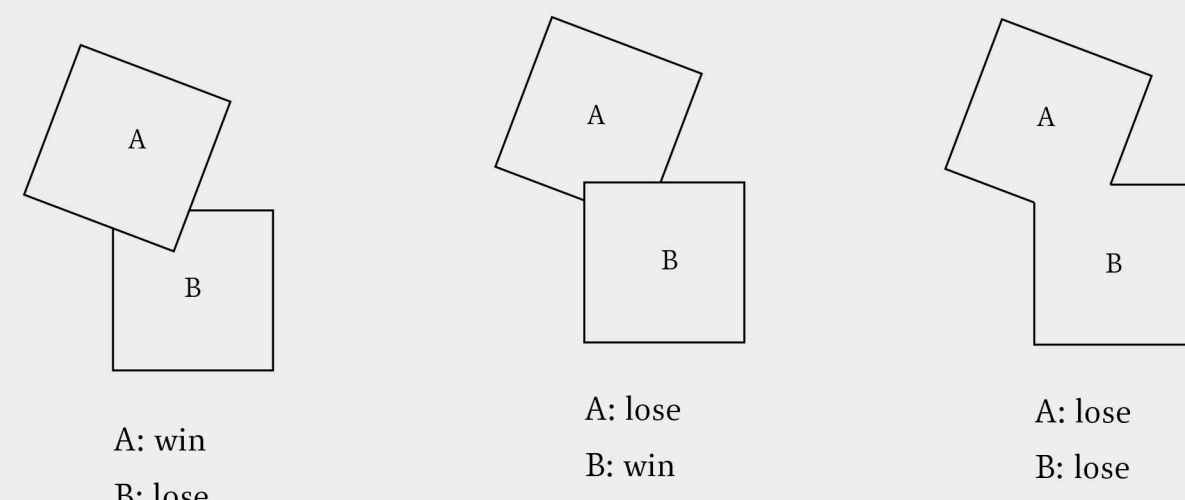


Cut



立方体は水平面によってのみ切り取られ、そのバリエーションは上の4種のみ。これらの切断がその周辺との関係の中で角度を変えながら選択される。

Intersection



「room」を配置する過程で面同士の交差が生じた場合、「どちらかが勝つ」もしくは「両方負けて開口部になる」のどちらかを選択する。この操作は平面断面共に行われる。



